

除事業特別会計補正予算（第3回）

事業勘定において、現行予算に1,973万8千円を追加し、7億4,929万9千円とするものです。

歳入においては、

財政調整交付金 50万8千円
退職者療養給付費交付金（現年度分） 1,900万円
一般会計繰入金 23万円

歳出においては、

国保保険者事務共同電算処理システム改修臨時負担金 10万8千円

退職被保険者療養給付費

1,900万円

一般被保険者療養費 40万円

などを増額するものです。

（原案可決）

議案第13号

平成18年度積丹町介護保険事業特別会計補正予算（第2回）

現行予算に5,893万円を追加し、3億1,875万8千円とするものです。

歳入においては、

介護給付費国庫負担金（現年度分） 184万2千円
調整交付金 640万4千円

介護給付費道負担金（現年度分） 1,691万5千円
介護給付費支払基金交付金（現年度分） 1,551万円
歳出においては、

居宅介護サービス等給付費

5,796万円

介護給付費国庫等負担金 精算返納金 122万4千円
などを増額するものです。

（原案可決）

議案第14号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

町長及び助役の給与水準の見直しについて、特別職報酬等審議会の答申に基づき、月額を引下げるものです。

町長 69万円→65万円

助役 58万円→56万円

（原案可決）

議案第15号

積丹町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

教育長の給与水準の見直しについて、特別職報酬等審議会の

答申に基づき、月額を引下げるものです。

教育長 55万円→53万円

（原案可決）

議案第16号

積丹町産業交流雇用対策推進施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
冬期間（11月～3月）の利用客増大と運営経費の縮減を図るため使用料金の引下げと同期間の開館時間を変更するものです。

◆11月～3月

使用料金

使用の区分			使用の単位	使用料
入館料	個	大人	1人 1回につき	500円
		小人	1人 1回につき	250円
	回数券	大人	12回券	3,000円
		小人	12回券	1,500円

開館時間

午前11時～午後9時まで

（原案可決）

選挙第1号

積丹町選挙管理委員会委員及

び補充員の選挙について

積丹町選挙管理委員会委員及び補充員の任期満了に伴い、地方自治法の規定により、委員及び補充員を選挙するものです。

◆委員

磯野 久治（美国町）
須田 嘉彦（日司町）
的場 無縫（美国町）
小澤 清一（余別町）

◆補充員

第1 細矢 義雄（野塚町）
第2 佐々木謙治（美国町）
第4 今井 諭（美国町）
第4 新井田徳彦（余別町）

（指名推薦）



膨らむ滞納金

1,800万円に迫る！

みなさん「住宅使用料」がピンチです。

税外収入の滞納問題について、最後となる今回は「住宅使用料」の現状についてお知らせします。

公営住宅は町民の財産です

公営住宅は、住宅に困窮する低所得者のために低廉な家賃で住宅を供給することなどを目的に建設され、現在町内には119戸の公営住宅があります。

公営住宅の建設費は町民から納められた町税などを財源とする町費と国からの補助金等で賄われます。したがって公営住宅に住む場合には、公営住宅法や町条例の適用を受けることになり、町民全体の財産に住んでいる、町民全体のものになります。

多額な累積滞納額

維持管理に支障も

住宅使用料（家賃）は、「応能

住宅使用料の収入額と滞納金の推移

（単位：千円）

年度	使用料収入	滞納金	
		単年度	累積
13	20,111	2,157	9,471
14	19,180	2,347	11,519
15	20,114	2,770	13,899
16	21,335	2,938	16,143
17	21,966	2,153	17,939

応益」方式、つまり、入居者の収入や住宅の立地条件、規模、建設後の経過年数など入居者の受益に応じて決定されます。

しかし、その家賃の累積滞納額は、平成17年度決算で、1,800万円に迫るなど多額なものとなっています。

もし、家賃の滞納が続けば住宅明け渡し請求の対象となるばかりでなく、滞納の家賃については、連帯保証人に請求することとなり、連帯保証人に対しても責任が及び多大な迷惑をかけることにもなります。

また、家賃収入は住宅の維持管理費として貴重な財源であり、その確保ができなければ適正な修繕が困難となり維持管理に支障をきたすことにもなりかねません。

公平な負担にご理解を

これまで「保育料」「学校給食費」と3回にわたり税外収入の中でも滞納額がとりわけ大きな割合を占めるものについてお知らせしてきましたが、滞納問題はこれ以外の多くの税目でも存在するのが現状です。

平等な行政サービスの利用による公平な負担に、ご理解とご協力をお願いします。

今年も大盛況でした！

どっい積丹 冬の陣



実行委員会（観光協会主管）が冬の一大イベントとして取り組んでいる「どっい積丹冬の陣」が開催されました。

イベント第1弾は、11月18日に町総合文化センターで「鮭と鍋」の満腹フェアが行われ、今年度は東京からも訪れた約1,100人は積丹の旬の味を堪能していました。

鮭職人と地元料理人が腕によりをかけて握ったマグロやアワビ、エビなど新鮮素材8カンセツトなど計3千食やホッケのすり身と生のりを使った積丹鍋も提供されました。

また、津軽三味線と民謡の生演奏や積丹沖で釣り上げたマグ



ロの解体ショーとその新鮮なマグロの入った海鮮丼400杯も振る舞われました。

12月10日には、第2弾の「積丹鍋の競演」が岬の湯しゃこたんで開かれ、町内の民宿や旅館のおかみさんたちが中心となって、ニシンの三平汁、カレー風味のフリ鍋、みそキムチ味のタラ鍋など7種類を大鍋で合わせて3百食を振る舞いました。

ここのあるみそ味や生ノリを散らしたしょうゆ味の鍋に2杯、

「にしん街道」をPR 町内に標柱を設置

同実行委員会では、にしんの歴史・文化から新たな産業や観光資源の創出につなげる「にしんルネサンス」事業の一環として、町総合文化センター前庭に「にしん街道」の標柱を設置、

11月18日に除幕式を行い、伊東後志支庁長、益子町長、岩本町議会議長など関係者約20人が参加しました。

標柱は、町内に事業所を置く北旺建設（札幌市）と近藤工業（小樽市）が寄贈したもの

3杯とおかわりする客が後を絶たず、あっという間に売り切れる鍋が続出していました。

なお、鍋の販売売上金64,185円は全て佐呂間町の竜巻災害に寄付しました。



で、高さ2・6m、直径45cm、ヒバ材を使用しています。

